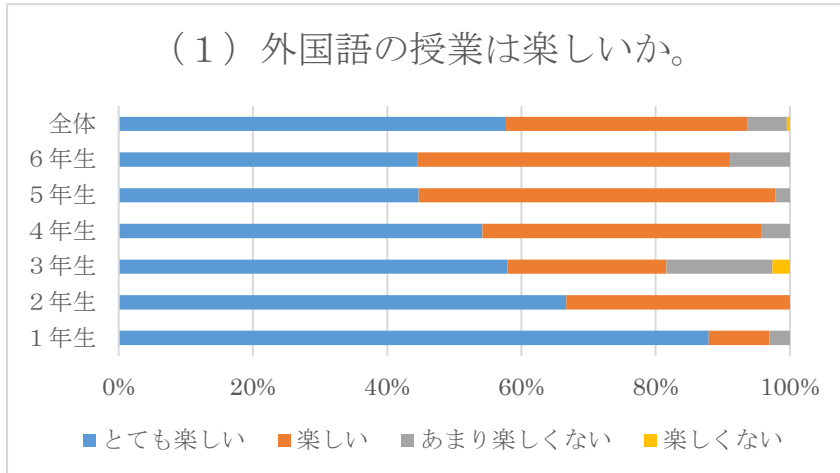


外国語科に関する調査結果(R5年度)

天草市立牛深小学校

【児童へのアンケート結果より】

(1) 外国語科の授業は楽しいですか。

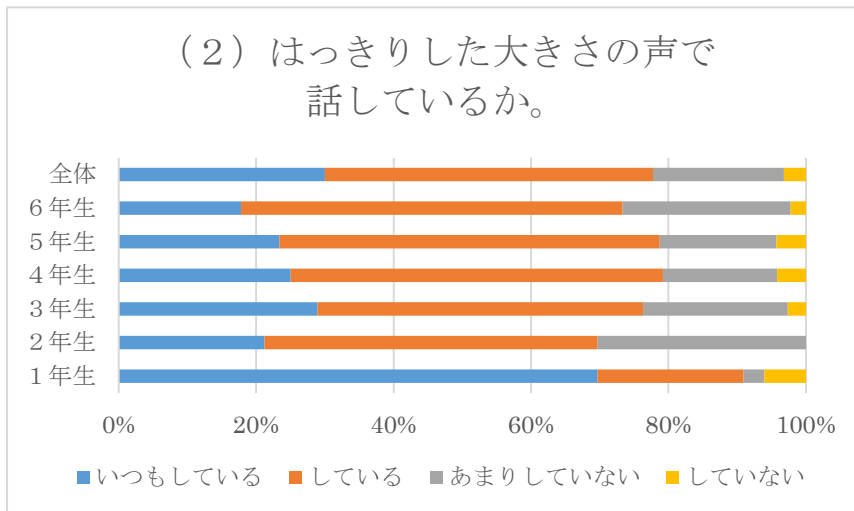


【考察】

昨年度と比べると外国語の授業が楽しいと感じている児童が全体的に増えている。

ALT も積極的に子どもたちと関わり、子どもたちのコミュニケーションをとろうとする意欲も高まってきている。

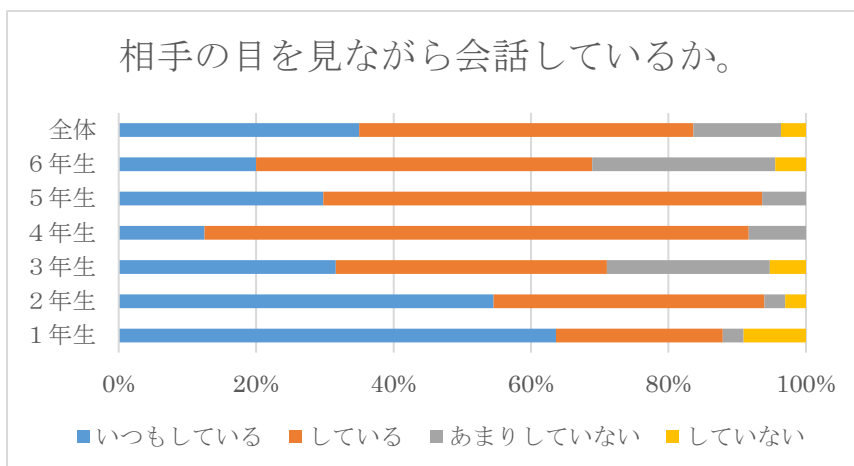
(2) 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。



【考察】

「意識している」と答えた児童は学年間で差があるようだ。感染症対策の制限緩和により、マスク着用も減ってきたため、口元をしっかりと見せて口形指導にも力を入れてきたが、相手を意識した話し方、声の大きさには課題がある。今後、外国語の授業以外でも、力を入れて指導していきたい。

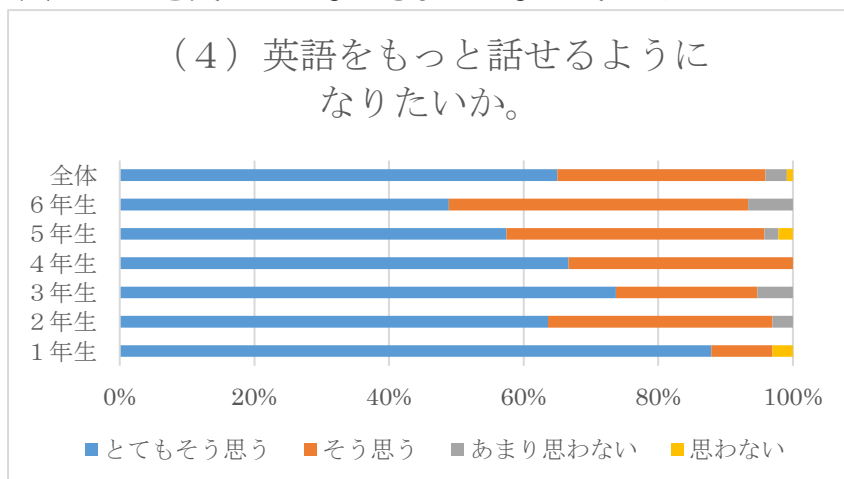
(3) 相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



【考察】

昨年度と比べて、高学年がやや意識が低くなっている。授業の最初に意識する観点を確認することを徹底して取り組むとともに、他の教科でも意識していきたい。

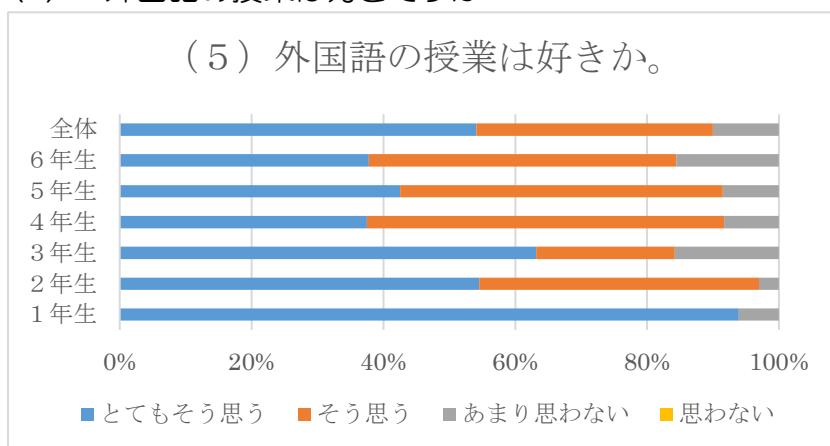
(4) もっと英語がはなせるようになりたいですか。



【考察】

全体的に「もっと話せるようになりたい」と答えている児童は昨年度よりも増えてきている。少しずつ英語で話すことへの抵抗がなくなってきたおり、前向きな気持ちで頑張ろうとする気持ちが高まってきている。

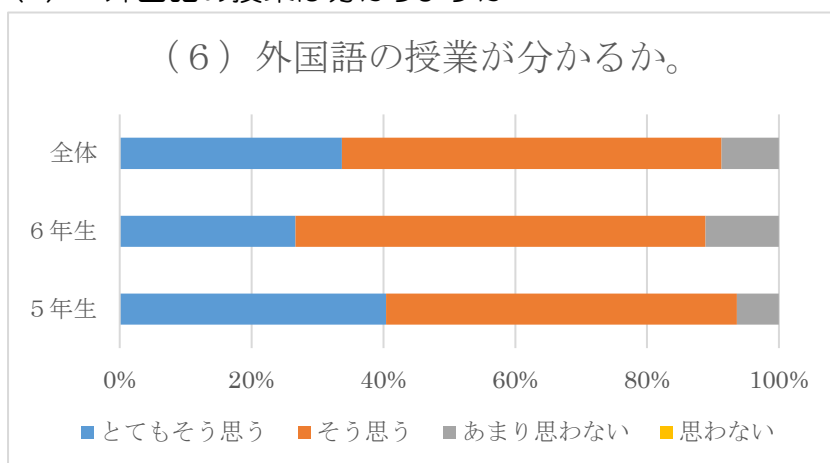
(5) 外国語の授業は好きですか。



【考察】

全体的に昨年度と変わらない数値だが、5年生の「とてもそう思う」「そう思う」と答えている児童が減っている。教科書の内容も難しくなり、苦手意識を感じている児童がいるようだ。児童の意欲が高まるような単元の構想を行っていくことが今後の課題である。

(6) 外国語の授業は分かりますか。



【考察】

5、6年どちらの学年も「分かる」児童が80%を超えている。また、「分からない」と答えている児童も昨年度と比べて減っていることから、「楽しく・分かる」授業を意識して取り組んできた成果が表れている。

【学校関係者等の感想】

- ・ 校内に、英語に興味を持てるような掲示物やALTとの連携が充実しており、児童の意欲が高まるような工夫がされてある。
- ・ 小・中連携で、各学校の授業を見せ合う機会を年に2回設定している。今後も、小中で連携して、学び方のギャップがないように取り組んでいきたい。